

第4回総会 パネルディスカッション

14:00-16:00

「海外ビジネスのパイオニア達が明かす！」

アジア環境市場の魅力とビジネス展開の秘訣」

- ◆テーマ1. ～なぜ海外へ？展開のきっかけと現地ネットワークづくり～
- ◆テーマ2. ～ここがポイント！我が社の独自ビジネス手法～
- ◆テーマ3. ～これからの海外マーケット攻略法～

パネリストご紹介

大和化学工業株式会社 代表取締役 土井 潤一 氏

2009年のタイ環境展示会を契機に、主力製品の減圧脱水機「減」を軸に海外展開に踏み出したTeam E-Kansai活用企業の先駆的存在。既に、タイや中国に現地法人を設立。また、広東省南海区政府から環境アドバイザーに任命されるなど現地との太いパイプを築き、現地企業と合弁でVOCモニタリングシステム事業を推進中。社長自ら、体当たりで中国市場に参入する姿がNHK特集「灼熱のアジア」でも取り上げられた。



株式会社ナガオカ 代表取締役社長CEO 三村 等 氏

石油精製ビジネスで培ってきた技術を活かし、取水設備や水処理装置等の革新的な技術開発を行い、水ビジネスに参入。常に、トップの意思決定によるスピードを重視。中国政府高官等とのネットワークを構築し、中国を中心に急速にビジネスを拡大。同社の技術が2回連続でIWA(世界水協会)の世界栄誉賞を獲得するなど国際的な認知も高まっている。同社長は、NHK「クローズアップ現代」など多数で取り上げられている。



株式会社日吉 代表取締役社長 村田 弘司 氏

環境分析・測定、上下水道等インフラ施設の維持管理等、約80種の許認可による環境総合事業を展開。アジアを中心に20カ国以上から200名以上の研修生受入や専門家派遣等を行い環境人材育成にも注力。インドでは同社同窓会を基に子会社を開設する等豊富なネットワークを活かしたグローバル展開を実施。同社の革新的なダイオキシン類測定手法が日本の公定法に認められ、現在海外の大学や研究機関等と共同研究を行い、国際標準化にも取り組んでいる。



リマテック株式会社 代表取締役 田中 正敏 氏

廃油等有機系廃棄物を独自技術で処理し、セメント工場等で燃料として活用するリサイクル事業を展開。また、大阪エコタウンで亜臨界水技術を活用した世界初の実用機を導入し、様々な有機物のリサイクル利用に先進的に取り組んでいる。海外ビジネスに意欲的に取り組み、台湾、韓国等へも展開。Team E-Kansai活動として、タイの工業団地のエコ化プロジェクトを主導。日刊工業新聞社「第30回優秀経営者顕彰」受賞。



モデレータご紹介

大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授 石川 宗孝 氏

国内でも有数の水・環境分野の研究者として知られ、水関連企業との強い繋がりがあり、またアジア等海外の政府・関係機関とのネットワークも豊富。京都大学工学研究科(博士)、大阪工業大学環境ソリューションセンター センター長、日本水環境学会関西支部理事等。

